



学校だより

おたかごタタイテ 多紀町音頭



丹波篠山市草ノ上 108 TEL558-0116 fax558-0260 令和4年3月18日 №.12



令和3年度 この1年、子ども達はたくさんの体験をしました！
皆様、大変お世話になり、ありがとうございます！



3月23日（水）は卒業式、24日（木）は修了式です。1～5年生にとっては学年の、6年生にとっては小学校生活のゴールといった引き締まる気持ちと、次の学年や中学校に向けてのワクワクした気持ちが子ども達の心に満ちあふれる時期になりました。保護者、地域の皆様には、今年度も子ども達を温かく支え励ましていただき、ありがとうございます。また、登下校の見守りや多紀っ子応援隊ギャラリー、消毒やバス待ちボランティア、校庭の草刈り、ゲストティーチャー、生け花や記録写真撮影等、様々なことで学校の教育活動を支えていただきました。おかげさまで、一人一人が、自分らしさを大切に、ぐっと成長した1年を送ることができました。感謝いたします。

コロナ禍での教育活動も2年目となりましたが、子ども達は困難な状況にネガティブにならないで、前向きに知恵を絞りながらがんばりを積み重ねています。例えば、「6年生を送る会」。5年生がはじめて中心になって全校生を動かす行事です。3学期が始まると、一生懸命に計画を立て始めました。しかし、まん延防止等重点措置が発令される等、次第に状況が厳しくなり、計画を練り直し、また練り直し、何度も知恵を絞りました。「6年生を送る会」の目的は「リーダーとしてがんばってきた6年生に感謝の気持ちを届け、喜んでもらう」ことでした。「どのようなコロナ対策を取ると、実施できるのか。」と必死に考え抜きました。そして、はじめは縦割り班で各ゲーム会場を回って楽しんでもらおうと計画していましたが、密を避けるため5年生が6年生を数ヵ所に分けたゲーム会場に招き、最後に外でくす玉を割るという内容に変更しました。更に1～4年生も参加できるように「6年生がハンターになる逃走中」を運動場で思いっきり走り回って行うことにしました。5年生は、外でもコロナ対策に抜かりはありません。密にならないようにハンターに捕まった人が入るスペースも、広いスペースにし、いくつも作りました。目的を全校生で共有し、5年生の知恵を集結した「6年生を送る会」で、主役の6年生は笑顔一杯になりました。「ありがとう」の気持ちも伝わって、大成功でした！（多紀小ホームページでその様子をアップしております。）

<https://taki-el.sasayama.jp>

子どもは、実にたくましいです。どうしようもない状況の中でも、何とかしようと自分なりに考え行動する。大人がひいたレールではなく、自分達でレールを創る。未熟さから失敗はつきものですが、失敗したから次はこうしようと知恵が生まれています。未来を切り拓く力は、失敗した回数に比例するのかもしれません。学校生活での小さな成功の一つ一つが、子ども達の自信です。これからも、多紀っ子の挑戦は続きます。皆様、来年度も応援よろしくお願ひいたします。

校長 押部匡子

<3月の今後の予定>

3/23（水）卒業証書授与式



<15名の卒業生が巣立ちます！>

5年生参加

5年終会 11:10 スクールバス 11:20

1～4年生は自宅学習日

(午前中は家で学習して過ごします)

3/24（木）修了式

1～5年終会 11:10 スクールバス 11:20

<4月の予定>

4/7（木）令和4年度1学期始業式

全校終会 11:10 スクールバス 11:20

4/8（金）入学式 全校終会 11:10 スクールバス 11:20

4/11（月）給食開始 全校終会 13:30 スクールバス 13:40

4/19（火）全国学力・学習状況調査（6年）

市学力調査（5年）

4/22（金）参観日、学級懇談会、PTA総会

<個人懇談 詳細は新年度にお知らせします>

4/27（水）、28（木）、5/2（月）、6（金）



学校評価アンケート結果をお知らせいたします

子ども達がぐんぐん成長できる学校づくりに生かします！



令和3年度は「よく学び よく遊ぶ ~多紀小で見つけた！自分のよさと可能性～」を学校教育目標として、教育活動に取り組んでまいりました。保護者・児童・教職員の三者評価アンケートをもとに今年度の教育活動をふり返り「学校自己評価」を行い、学校運営協議会委員の皆様にご意見等を伺いました。その一部をお知らせいたします。今後この学校評価をもとに、次年度の方向性と取組を考えていきます。

	学校自己評価（保護者・児童・教職員）と今後の取組	学校運営協議会委員さんの意見
学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○「基礎・基本」についてはほぼ理解できていると回答している。今後も多紀スタンダード（基本的な授業の流れ）をもとに児童相互の意見交流で深める授業づくりに努める。 ○多様な学びに対応するためにICTを効果的に活用できるよう研究と実践を積み重ねたこと、モジュール学習を確実に実施したことでの個々の学力向上につながってきた。今後も継続して取り組んでいく。 ○表現する力については約90%の児童が「できた」と回答。表現する機会を増やし、具体的な表現方法を学んだことから自信を持って表現できたと実感していることがわかる。しかし、「できた」と回答した保護者は60%、教師も75%と高くなかった。表現するときの語彙量の少なさが一因であることから落ち着いて読書をする時間を設定する等、語彙量を増やす取組を進めていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・GIGAスクールの評価が高く、ICTを活用した授業が推進されていることはコロナ禍では必要なことなので今後も取り組んでいってほしい。 ・表現する力については、人権意識を大切にした学級経営を土台に、何でも話ができる人間関係づくりが大切だと思う。明るく元気に自分の意見を発表している子が多いように感じた。 ・家庭学習は、なかなか身につけることが難しいようだが、「篠山東中校区小・中9年間で身につけたい生活習慣・家庭学習」のリーフレット掲載の3つの「あ」（あいさつ・あつまり・あとしまつ）や3つの「ま」（まいにち・まじめに・まっさきに）を活用し、家庭と連携して取り組んでいってほしい。
生徒指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○「楽しい学校生活が送っていますか」の質問には、児童、保護者の約95%が「達成できた」「ほぼ達成できた」と回答。今後も全教職員で児童の情報を共有し、保護者との連携のもと迅速で丁寧な組織的対応を続けていく。 ○しかし、上記質問に「やや課題が残る」「改善を要する」との回答もあり、その実態をつかむと共に個別の支援や指導、家庭・関係機関との連携を進める。引き続き児童の内面理解に努めながら、よりよい人間関係づくりに取り組む。 ○「あいさつ」については児童の約90%が「達成できた」と回答。高学年の姿勢がよい挨拶の輪を広げている。しかし、いつも挨拶をしない児童が複数人いる。自然と自分なりの挨拶が交わせるように工夫して取り組んでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ対策や個に応じた対応は、全教職員が共通理解して取り組んでいるスタンスはとてもいいので、続けていってほしい。 ・親は、子どもが健やかに育ってほしいと願っているので「日々の保護者とのつながりを大切にする」ことは、今後も是非継続してほしい。 ・後片付けについて、三者の評価にバラツキがあったが、学校でできていたり家庭ではできていないこともあるようだ。学校と家庭との連携した取組に期待している。
地域と共にある学校	<ul style="list-style-type: none"> ○コロナ禍ではあったが、創意工夫して地域の特色を生かした学習ができた。今後もふるさとの学びを大切に体験活動を進めていく。 ○児童の学びの場に学校運営協議会の委員さんに参加していただき、アドバイスや地域との調整をしていただいた。学校だけではなし得なかった活動の場の広がりや地域の方とのつながりが可能になり、学習が非常に充実した。 ○HPや学校だより、有線放送等で学校情報を積極的に発信できている。ほとんどの保護者が「達成できた」「ほぼ達成できた」と回答している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対策を取りながら、地域のゲストティーチャーから多くのことを学ぶことができた。 ・開始して1年が経過した「多紀っ子応援隊ギャラリー」。多紀地区の皆様のご協力で継続できて感無量である。学校と多紀地区を結ぶ「夢の架け橋」として今後もしっかりとつなぎ続けよう。 ・児童の学習に参加して、一緒に考えたり活動したりできて良かった。 ・広い校区で児童が居住しない地域もあり、有線放送で学校情報を発信しているのは学校や児童の様子がよくわかる。

*上記以外にも、貴重な意見をいただいております。今後の教育活動に生かしていきます。